

## のんさんが語る

# 映画『星屑の町』

2月24日にアンバーホールで、全国に先駆け上映する映画『星屑の町』。広報くじでは、毎月作品のさまざまな情報をお届けしています。今回登場するのは、ヒロインの久間部愛を演じるのんさん。この作品の感想や見どころ、久慈ロケの思い出、そして岩手・久慈への思いを聞きました。

### 長年続く舞台の映画化 その中で演じた感想は

喜びもすごく大きかったですけれど、25年続けられていて、息の合っている皆さんの中に入っていくのは緊張しました。だからこそ流れている、穏やかな雰囲気もあったけれど難しかったです。本当に面白くて、魅力的で幸せでした。

### 演じる中で意識したことは

愛は、すごくお父さんにとられていて、自分の才能(歌)に自信はあるけれど、お

父さんを見つけることで、自分を肯定したいんだと思っ

た。自分を認めるために、お父さんを探したりだとか、歌を歌っている子なのかなって、役を組立てていきました。あと一番崩しちゃういけないなって思ったのは東北弁ですね。以前東北弁の役をやったときは、えせ東北弁で、地元の人からしたら、めっちゃめちゃな方言使ってたと思うんですけど、今回は生粋の東北人で、地元の人をやらなくちゃいけないだったので、方言指導をみっちり受けて頑張りました。

お気に入りの歌のシーン。

衣装もかわいいので

注目してほしい。



### 劇中で変化する愛ちゃん 工夫したことは

監督から、愛ちゃんが台風の様子を、ハローナイツをかき回す存在になってほしいと言われました。最初は着飾らないし、歌を歌う子ってのも分からない田舎娘みたいなところから始まるんですが、どんどん愛ちゃんの激しい部分が出てくるようになる。愛ちゃんの感情が出る部分は、思いつきやらなきやなっていう風には思っていました。

### 久慈ロケの感想は

海は知っていたんですけど、山は初めてに近かったんです。すごく新鮮。久慈にもこんな風景があるんだって思いながら、本当の自分の故郷の兵庫県でも知らない土地がいっぱいあるので、そういう気分が楽しんでいました。あと、お昼ごはんは久慈の皆さんが、地元料理を出してくださった。そのときに、すごくたくさん種類の山菜を出してくれたり、鹿肉カレーを出してくれて、それはすごいおいしかったです。鹿肉カレーなん

ですけど「熊肉も入っちゃいました」って言われて、どうやったら混ざるの? って思ったんですけど、そんな珍しい出来事もあり、すごくおもしろかったです。

### お気に入りのシーンは

自分が好きなのは、菅原さんが一人語りするところ。愛ちゃんをハローナイツに入れたくなって、愛ちゃんのおじいちゃんの話をするところ、すごく過剰な演出をかけて話すところがめっちゃ好き。自分が参加していないシーンだったので、あんなことになっただけで、あんなことが台本からは分からなかった。菅原さんの独壇場だなって。

自分が参加しているところでは、やっぱり歌のシーンですかね。一番頑張った部分なので。これは皆さんにどう思っていたか分かるかなってのがヒヤヒヤしてる部分もあるんですが、歌のシーンに注目していただきたい。かわい衣装を着ていたりとか、昭和歌謡のカバーだったりとか、古き良き歌たちを歌わせていただいているので、

それに注目していただきたいなっと思えます。「シャボン玉」っていう、舞台でもやっていない、この映画オリジナルの曲があって、その曲の部分はお気に入りです。衣装も好きで、自分の声にあわせて作曲してくださったので、自信あります。

### 自身が監督した 映画「のんたれ」

兵庫と岩手が候補で、やっぱり遠野の雰囲気が好き。スタジオで、面白そうだったのでそっちにしようかなっと思えました。遠野といえど遠野物語ということで、読んでる中で、柳田國男さんが、私の出身と同じ郡の兵庫県神崎郡福崎町の出身ということが分かって、故郷と第2の故郷が重なった、みたいな気持ちになって、遠野しかないなって思いました。

### 映画監督を経験して 女優として変化は

とても糧になりました。桃井かおりさんに、お話を伺う機会があって「監督は役者でもあるし、役者は監督でもあ

### のんさん (久間部愛役)

【役柄】母の店を手伝いながら、いつか歌手になることを夢見る田舎娘。売れないコーラスグループハローナイツと出会ってしまったことから、人生は急展開…。啓太との恋の行方も気になること…



るからね」「役者はみんな監督を経験するのっていいと思う」とおっしゃっていた。やってみてそれを実感しました。

### 聖火リレーで 岩手を走る心境は

すごくうれいすね。岩手はゆかりのある町で、自分では第2の故郷だと思っています。毎回自分が皆さんを笑顔にしたいと思って、久慈に

行ったり、岩手に訪問したりするんですけど、逆にみなさんに「のんちゃん」て迎え入れてもらって、自分がパワーをもらっているところがあるの、今回こそは、きつとみなさんにパワーを届けられる任務を全うできるんじゃないかなって思って、すごく誇らしいです。岩手の良さをたくさんの人に知ってもらいたいなっと思っています。